

教育研究業績

人間発達学部子ども発達学科

氏名	加藤 聡一	職名	准教授
教育活動	[学部] 子ども学総論, 教育課程論, 教育方法論, 入門演習, 専門演習, 卒業研究・卒業制作 教育の思想と歴史, 大学生になる, 日本語表現, 人類生存のための教養 [大学院] 子ども学特論, 子ども学特演		
学位	「修士(教育学)」(京都教育大学・平成5年3月)		
学歴	平成元年3月 京都教育大学 教育学部 教育学科 卒業(教育学士) 平成元年4月 京都大学 教育学部 聴講生 平成2年4月 京都教育大学大学院 教育学研究科 学校教育専修 入学 平成5年3月 京都教育大学大学院 教育学研究科 学校教育専修 修了(修士(教育学)) 平成5年4月 京都教育大学大学院 研究生 平成6年4月 京都大学大学院 教育学研究科 教育学専攻(後期博士課程) 編入学 平成9年3月 京都大学大学院 教育学研究科 教育学専攻(後期博士課程) 学修認定退学		
職歴	平成8年1月 近畿高等専門学校 非常勤講師(平成8年4月まで) 平成8年5月 無職(大学院生)(平成8年10月まで) 平成8年11月 近畿高等専門学校 非常勤講師(平成9年3月まで) 平成9年4月 京都大学教育学部 助手(文部教官教育職(一)2級)(平成11年3月まで) 同 立命館大学 非常勤講師(平成11年3月まで) 平成9年10月 種智院大学 非常勤講師(平成14年3月まで) 平成10年4月 京都大学大学院 教育学研究科 助手(教育学部助手 兼務)(平成11年3月まで) 同 龍谷大学 非常勤講師(平成11年3月まで) 平成11年4月 東京理科大学理学部 第一部教養学科 教職課程 専任講師(第二部 兼任) (平成17年3月まで) 平成14年4月 中央大学 非常勤講師(平成15年3月まで) 平成16年4月 東京理科大学大学院 理学研究科理数教育専攻 兼任講師(平成17年3月まで) 平成17年4月 武蔵大学 人文学部 教職課程 専任講師(平成19年3月まで) 同 東京理科大学大学院 非常勤講師(平成20年3月まで) 平成19年4月 武蔵大学 人文学部 教職課程 准教授(平成25年3月まで) 平成21年4月 東京理科大学大学院 非常勤講師(平成25年3月まで) 平成25年4月 名古屋芸術大学 人間発達学部 子ども発達学科 准教授(現在に至る) 同 名古屋芸術大学大学院 人間発達学研究科 子ども発達学専攻 准教授(現在に至る)		
専門分野	教育哲学, 教育課程論(カリキュラム論)		
研究課題	デューイなどの哲学を参照し, 発達を根拠としたカリキュラムづくり(個人的カリキュラム, 教育課程, 授業・活動, 地域社会計画, およびこれらの相互関係についての探究) 日本における生活教育の思想と実践の研究。		
	[著書・論文・学会発表] ・「いのち輝く つながりが生んだ本物の学び」(共著)ルック(平成20年11月)「第4章自分が見え、世界につながる学びまとめガイド 自分で世界をつくり出すプロセスを土台とする認識の広がり」 ・『シリーズ現代の教職 3 西洋の教育の歴史』(共著)ミネルヴァ書房(平成22年2月) 「第10章 民主主義の教育思想-デューイ」 ・『教育学原論(MINERVAはじめて学ぶ教職①)』(共著)ミネルヴァ書房(平成30年6月) 「第7章 近代教育思想—ルソーからヘルバルト学派まで」 ・『希望をつむぐ教育 人間の育ちとくらしを問い直す』(共著)生活ジャーナル(平成30年8月) 「学習指導要領と日生連の70年—新しい学習指導要領の特質とその根本的変革」 ・「教師のく子ども・生徒を教育する時間と自ら成長するための時間」の欠乏と空洞化—自ら課題をきめるといふ人間観・教育観・カリキュラム観への転換—(単著)『生活教育』2009年6月号727号(平成21年5月)		

教育研究業績	<ul style="list-style-type: none"> ・「体験から生活そのものを学ばせる生活教育実践」(単著)、中河原良子『じゃんけんぼん 子どもと一緒にあいでしょー子どもの育ちが見えてきたー』ルック(平成21年8月) ・「子ども・生徒の人格発達に対応する豊かな学級活動「指導計画」づくり(特別活動)ー学級を《オキュペーションズ》の基本単位ととらえるー」(単著)『生活教育』2010年4月号737号(平成22年3月) ・「カリキュラムにおける総合学習・ゼミナールの位置づけと意義ー〈教育課程の連関性と全体性〉と大学での教育学ー」(単著)武蔵大学教職課程『教職課程研究年報』第24号(平成22年5月) ・「生活教育における環境教育ー環境という視点をとりたてて総合するー」(単著)『生活教育』2010年10月号743号(平成22年9月) ・「小学校理科新教科書はどう活かせるか」(単著)『生活教育』2011年4月号、749号(平成23年3月) ・「日本国憲法の理念を現実にする教育実践とその方法ーそれが生活教育」(単著)『生活教育』2011年7月号752号(平成23年6月) ・「子ども・生徒を学力からでなく人格として《理会》するー江藤新平・石山脩平から学ぶ」(単著)『生活教育』2012年10月号767号(平成24年9月) ・「プラトン『パイロスー美について』の教育学的含意ー〈人間本性〉と〈教育〉の発見とその導出ー」(単著)『名古屋芸術大学教職センター研究紀要』第4号(平成28年3月) ・「中学・高校・大学生の進路指導と〈マイ＝カリキュラム〉ー教育課程づくりで生徒指導・学生指導を包摂するー」(共著)『名古屋芸術大学教職センター研究紀要』第4号(平成28年3月) ・「教育課程における〈ゼミナール〉〈卒業論文〉の位置と実際の指導ー書くことと生きることの区別と連関ー」(単著)『名古屋芸術大学教職センター研究紀要』第5号(平成29年3月) ・「新学習指導要領等の特質と問題点についてー分析検討の留意点と課題ー」(単著)『生活教育』2017年8月号、825号(平成29年7月) ・「『可逆操作の高次化における階層ー段階理論』における3つの法則性の区別と連関ー〈対称性の原理〉と〈美しき法則性〉の独自性ー」(単著)『人間発達研究所紀要』第30号(平成29年7月) ・「どこで出ていくな 出番だって言われそうーわくわくドキドキの新しい出会い」(単著)『生活教育』2017年4月号、821号(平成29年3月) ・「反省的思考の産物としての『民主主義と教育』体系」(個人発表)日本デューイ学会(第60岐阜大学大会)(平成29年9月18日) ・「生活教育思想からみる『論点整理』(中教審 教育課程企画特別部会・2015年)」(個人発表)教育目標・評価学会第27回大会(一橋大学)(平成29年11月27日) <p>[講演]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「名古屋芸術大学人間発達学部の取り組みから」シンポジウム 小学校教育への見通しを持った保育者の養成～求められる資質とその課題」東海大学短期大学部(平成28年2月27日) ※東海大学短期大学部「小学校への見通しを持った幼児教育に資する教員の養成に関する調査研究」[平成27年度文部科学省「総合的な教師力向上のための調査研究事業」]による ・「『可逆操作の高次化における階層ー段階理論』は学校教育にどう向き合うか」人間発達研究所第33回研究集会、大津市ふれあいプラザ(平成30年7月14日)
所属学会団体等	日本デューイ学会、日本カリキュラム学会、日本教育方法学会、教育目標・評価学会、日本教育学会、日本応用心理学会、日本教師教育学会、日本生活指導学会、大学評価学会、日本生活教育連盟、人間発達研究所、技術教育研究会、心理科学研究会
社会的活動	<ul style="list-style-type: none"> ・練馬区子ども読書活動推進会議 委員(平成19年9月～平成21年3月)(座長:任期2年) ・北名古屋市教育委員会外部評価委員(平成27年6月～現在に至る) ・北名古屋市子ども・子育て会議委員(平成27年6月～現在に至る)

その他	特記事項なし
-----	--------